

「初冬のトトロの森散策とみかん狩り」

2018-12-05 記 小倉洋一

■実施日：2018-11-29 ■参加者：19 名 ■訪問場所：トトロの森・三ヶ島ミカン農家

市民の森として親しまれているトトロの森の散策と、今が旬のみかん狩り及びさつま芋掘りに行きました。道案内はトトロの森に深い造詣があり、ボランティア活動にも熱心な当サークルの佐藤八郎氏にお願いしました。

初冬とは思えない散策日和のなか、小手指駅南口からバスに乗り、15 分程で芸術総合高校前にて下車。

早稲田大学正門看板を右に見てケヤキ並木道から散策開始、ケヤキは紅葉を過ぎ枯れ葉となっているものの、道端のドウダンツツジは色鮮やかな赤色を残して初冬の穏やかな陽を浴びていました。

大学正門の手前を左に入り、初めに学校のフェンス沿いの葛籠入^{つづらいり}の森にある 20、21、31 号地と木漏れ日の中を歩くと、ふれあい湿地があり、夏にはホタル観賞が楽しめる場所として家族連れが訪れています。その先には和田茂氏より市に寄贈された和幸の森があります。市民が憩い自然に親しめる場所にと保全されています。



1991 年に取得された「トトロの森 1 号地」を皮切りに、現在 48 ヶ所の「トトロの森」が確保され、多くの市民の散策地として親しまれています。広大な丘陵は里山の景色が残っています。そして、ゆるやかな丘と谷が織りなす四季折々の里山の美しい景色があり多くの動植物が息づいています。トトロの森の保全は市民のボランティアによるところが多と思われます。その一方で資材置き場や残土捨て場などの小規模開発が今も後をたちません。私達市民の見回りも大切な務めと思います。

次に師岡蜜柑園でのみかん狩りです。芸術総合高校前の斜面に日当たりのよいミカン畑があります。青々とした木には多くの大きささまざまなみかんがなっていました。入園者には食べ放題となっています。最初は大きなみかんを食していましたが、中くらいの大きさのものが食べやすく甘くなっていました。今年は風台風の影響で表面にキズがあるものが多いものの、何れも皮は柔らかくみずみずしく甘く上出来と思われました。ミカン狩りのミカンはキロ 200 円で購入しましたが帰りは重そうな荷物となりました。

ミカン畑の中にひととき大きな木がありますが（ゆずの木）でした。収穫は 12 月に入ってからとの事、ゆずも今年の風台風で表面にキズがあるものが多いが味は変わりがないとのことでした。

昼食は各自弁当持参で、師岡みかん園の休憩所でいただきながらトトロの森やみかんの収穫の話題で楽しい一時を過ごしました。



次にオプションとしてみかん園から歩いて 15 分程の農園でさつま芋掘り(紅マサリ)を体験しました。サークルの佐藤さんが仲間とやっている畑です。一角には農具一式が入った物置小屋があり用意万端でした。6 人が参加してシャベルで畝を掘ると大小のイモが(それこそ芋づる式です。)出てきました大量です。一人 4 キロあてです。重さは 300~700g ほどで大きなものは一個 1 キロを超えていました。当面芋づくしの食卓が浮かびます。



当サークルの行事も 12 月の総会を残すのみになりました。総会時には今年度の活動を振り返り、来年度の活動に生かしたいと思います。